

清見坂

令和2年3月23日
第 10 号
生徒指導部

新年度に向けて～規則正しい生活を送り、準備をしよう

1 生活・健康について～生活リズムを戻しましょう

新型コロナウイルスの影響で外出する機会が減少し、普段の生活リズムが崩れてしまった人も多いと思います。始業式の前に起床時間・就寝時間・携帯電話の利用の制限・規則正しい食事を心がけ、生活リズムを学校モードにし、元気な姿で始業式に登校してください。



2 休業中の登校について～校舎をきれいに使用しましょう

- (1) 生徒玄関は朝のみ開錠します。それ以外は職員玄関を使用してください。
- (2) 部活動等で登校する生徒は、活動が終了したら、すみやかに下校してください。
- (3) 自転車での登下校は路面状況を考え、危険な時は使用しないでください。

3 外出について～充実した春休みを送るために守りましょう

- (1) 外出時は目的・場所・帰宅時間を家族に伝え、午後10時前に帰宅してください。
- (2) 夜間の外出や一人歩きは危険です。絶対に避けてください。
- (3) 未成年者の立ち入り禁止場所（パチンコ等）への出入りは厳禁です。



4 休み明けの頭髪・服装検査～始業式終了後

毎年、長期休業中に髪を染色・脱色する生徒がいます。髪は一度染めたり脱色したりしてしまうと、たとえ黒く戻しても元には戻りません。入学当初の色を維持してもらうため、卒業まで直し続けることとなります。「休みぐらいいいだろう。」という甘い考えはやめましょう。進路活動で通用する頭髪を常に心がけましょう。

5 自転車利用について ～始業式から自転車通学を認めます～

雪解けも進み春が一步步近づいているのを感じる季節となりました。例年通り、春休みからの自転車の使用を認めますが、路面状況によっては、使用しないようにしてください。ルールを守り、事故等に巻き込まれないようにしましょう。

また、自転車通学生は任意保険加入を許可の条件とします。学校からは、PTA連合会の保険の案内を配布いたします。その他の保険でも構いませんが、保険加入が自転車通学の条件となりますのでよろしく願いいたします。

6 特殊詐欺に加担しないために～高校生も特殊詐欺に加担しています

銀行口座に振り込みを求めたり、被害者の家を訪れ現金を受け取ったり（いわゆる「受け子」と言います。）するという事案が発生し、道内の少年が、他府県で受け子として検挙された事例も発生しています！



～このような話があったら要注意！！～

- うまい話で誘ってきたら・・・（いいことがあるからやってみない？）
- けいけんがなくても大丈夫！・・・（訪問した先で渡される封筒を受け取って帰ってくるだけ）
- こんなに簡単にお金が手に入るなんて・・・（その封筒を担当者に渡せばバイトは終了だから）

春休み中のインターネット利用で気を付けるポイント

新型コロナウイルスの影響で、外出する機会が減少し、家でスマートフォンを使用する時間が普段より長くなっていると思います。春休みに入る前に、使用方法・使用時間を今一度見直して新年度に備えてください。元気な姿で皆さんと会えるのを楽しみにしています。

①スマートフォンの長時間利用対策を

勉強中や寝る直前などの利用は生活に悪い影響を及ぼします。睡眠障害により、生活習慣が崩れ、春休み明けの学校生活に影響を及ぼします。冬休みだからといって、スマートフォンなどのネット機器を長時間使用しないようにしましょう。



②SNSの危険性を再確認

冬休みはSNSの利用頻度も多くなります。SNSには出会いや犯罪目的で声をかけてくる人もいます。**「ネット上で知り合った人とは直接会わない」**、**「知らない人に個人情報や写真を送らない」**という当たり前のことを守り、トラブルに巻き込まれないようにしましょう。

SNSの利用では公開範囲に制限をかけないと、見ず知らずの人から連絡が来ることによって、**ストーカー被害や詐欺被害に遭う確率が上昇**します。犯罪から身を守るためにも、SNSを利用する時は公開範囲を制限し、不特定多数に見られないようにしましょう。



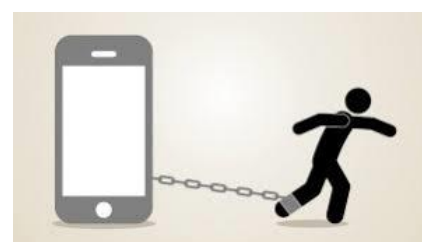
③ネットパトロールを実施しています！

池田高校では独自にネットパトロールを実施し、SNSのプロフィール欄のチェックや不適切な投稿がないかをチェックしています。自身の携帯電話・ネットの使用方法を振り返ってみてください。

また、不適切な投稿、友人の悪口や愚痴、学校や会社への不満などは就職活動の際に、品性に欠けるという判断をされ、

不採用になる原因となり得ます。インターネット上に公開された

情報は完全に削除することはできません。投稿する際は慎重に内容を確認して投稿しましょう。



④ご家庭での対応

御家庭では、インターネットに関する知識や経験も踏まえた上での指導が効果的です。大人が子どものスマホに**フィルタリング**などの設定を行うことや家庭での**使用時間のルール**、**NOスマホDAY**を決めるなど、インターネットの利用によるトラブルから子どもを守るために**「情報モラルの指導」**を御家庭でも指導していただくと助かります。